

平成19年8月7日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズ
代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
(コード 8732 大証ヘラクレス)
問合せ先 取締役経営企画室長 佐藤 直広
(TEL. 03-4540-3804)

昨今の円高懸念における当社業容に関する報道について

記

本日8月7日(火)付けの日経金融新聞にて報道された昨今の円高進行についての、当社代表取締役社長の奥山泰全による発言を受けての記事について、下記の通りご説明いたします。

当社のお客様は相場変動に応じて取引が活発になり、通貨ごとの売りと買いの比率もほぼ均衡しております。このようなお客様の取引状況に鑑み、当社では昨今の円高により取引が縮小する懸念は小さいと認識しております。本年2月に上海株式が急落した際も円高が急速に進みましたが、お客様の損益状況はまちまちであり、当社におけるお客様の取引状況及び業績悪化への懸念はございませんでした。

FX(外国為替証拠金取引)は、買いも売りもできる取引商品であり、円高局面であってもそれに応じたポジションを取ることが可能です。従って為替市場の円高傾向は、当社の取引規模及び業績に直接的に影響を与える関係にはありません。またFXの証拠金におけるレバレッジの倍率は原資産のボラティリティ(変動率)をもって考慮されるべきものであり、原資産価格そのもので単純に他の金融商品のレバレッジと比較考慮されるものではございません。

今後も当社は「投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する」ことをビジネスミッションとして外国為替証拠金取引事業に取り組んでまいり所存です。

以上